

資料提供	
平成30年11月22日	
担当課 (担当者) 電 話	教育人材開発課 (津村、新田、徳高) 0857-26-7577

平成30年度教育者表彰（文部科学大臣表彰）の被表彰者の決定

このことについて、下記のとおり決定されましたので、お知らせします。

記

1 教育者表彰（文部科学大臣表彰）について

学校教育の振興に関し、特に功績顕著な教育者の功労をたたえ、これを文部科学大臣が表彰するもの。

2 被表彰者（3名）

杉本 仁詞（すぎもと ひとし） （鳥取市立美保小学校長）

田中 正士（たなか まさし） （鳥取県立倉吉農業高等学校長）

茅原 宏司（かやはら ひろし） （鳥取県立倉吉養護学校長）

3 功績等

別紙のとおり

4 表彰式

日時：平成30年11月30日（金） 午後0時20分から

場所：文部科学省3階講堂（東京都千代田区霞が関3-2-2）

【別紙】

平成30年度教育者表彰（文部科学大臣表彰）被表彰者

ふりがな 氏名	すぎもとひとし 杉本 仁 詞	年齢	59歳
職名	鳥取市立美保小学校長		
主な功績	<p>平成22年4月に智頭町立智頭小学校長として着任した。平成24年4月には、智頭町内6小学校が統合したが、初代校長として旧6小学校の伝統と文化、地域の教育力を継承し、敬愛と信頼の人間関係を基盤とし、温かさと躍動感に満ちた小学校教育の創造に力を注いだ。</p> <p>平成28年4月からは鳥取市立美保小学校長に着任し、「自主・協力・不屈」の校訓のもと、「かんがえいっぱい・やさしさいっぱい・がんばりいっぱい」を教育目標に掲げ、道徳と特別活動を中心とした、笑顔とやる気にあふれる子どもの育成を目指し、教職員一丸となって努力し、着実に成果をあげている。</p> <p>平成28年、29年度には鳥取県小学校長会長として、校長会の円滑な運営に手腕を振るうなど、絶えず広い視野に立ち、豊かな見識と教育にかける情熱、卓越した指導力・統率力により鳥取県教育の充実・発展に尽くした。</p>		

ふりがな 氏名	たなかまさし 田中 正 士	年齢	59歳
職名	鳥取県立倉吉農業高等学校長		
主な功績	<p>平成26年4月から鳥取県立倉吉農業高等学校長として、優れた教育的識見と卓越した指導力をもって、農業経営者育成のために学校運営に手腕を振るっている。県の農業教育拠点校として農業教育の振興に尽力し、特に農業後継者の育成においては、県と連携し、全国初の技術認証制度「スーパー農林水産業士」育成プログラムを作成した。</p> <p>また、地域に愛される学校づくりとして学校施設を地域に開放し、生徒が地域の人たちを指導する活動をとおり、生徒のコミュニケーション能力や学習意欲の向上だけでなく、学校の活性化に大きな成果を上げた。</p> <p>さらに、アクティブ・ラーニング型授業による授業改革を推進するとともに、学習習慣定着のための学習時間確保や朝読書の導入を進める一方で、部活動の奨励、挨拶運動の取組などにより、規範意識のある農業経営者の育成に努めた。</p> <p>平成30年度には、鳥取県高等学校長協会長としてもリーダーシップを遺憾なく発揮し、鳥取県高等学校の発展に寄与した。</p>		

ふりがな 氏名	かやほらひろし 茅原 宏 司	年齢	59歳
職名	鳥取県立倉吉養護学校長		
主な功績	<p>平成24年4月から3年間鳥取県立白兔養護学校長として、訪問学級教場の環境整備や、県内の5つの知的障がい特別支援学校のつながりの重要性を説き、学校間交流を始めるなど、県全体の特別支援教育の推進に尽力した。</p> <p>平成27年4月からは鳥取県立倉吉養護学校長として、作業製品販売会をショッピングセンターで行うなど、地域の人たちとの交流をとおして、児童生徒の自尊感情を育てるとともに、学校の取組を広く地域に知らせることで特別支援教育への地域の理解啓発への取組を推進した。また、生徒の卒業後の生活を見据え、地域のNPOが行う事業に児童生徒の参加を促し、余暇活動の充実や、生徒の実態に応じて公共交通機関を利用した自立通学の促進に尽力した。</p> <p>平成29年度には、中国地区知的障害教育研究協議会の代表理事として中国地区知的障害教育校の中心的役割を担った。</p>		

※年齢は平成30年11月30日時点